

# より良い議会政治の実現を目指して

衆議院事務総長の築山です。令和6年(2024年)6月21日の本会議で事務総長に選出されました。事務総長は、事務局職員のトップであると同時に議院の運営に重要な役割を担うことから、議員ではないにもかかわらず国会役員として位置づけられております。

国会は、憲法上、国権の最高機関であり唯一の立法機関とされていますが、国会の立法機能や行政監視機能を適切に行使するためには、議員の活動を補佐する我々事務局の役割は重要です。最終的に判断をするのは選挙で選ばれた国会議員ですが、その判断をする上では、法規や先例に関する正確な知識、各省庁が所管する国政全般に関する最新のデータやその分析、提出された法案の論点等について、事務局から適時適切に議員に情報提供を行う必要があります。行政機関に比べると少ない人数で業務を行っているので、少数精鋭主義で日頃から努力していく必要もあります。

現在、日本は少子高齢化の困難な時代を迎えており、また、世界情勢も不安定な状況にあります。そうした中で立法機関と行政機関が切磋琢磨することで、日本の国家国民のためのより良い議会政治を実現していくことが求められており、衆議院事務局で働く意義は大きなものと言えるでしょう。

他方で、衆議院事務局では、ワークライフバランスにも配慮しており、残業も比較的少なく、各種休暇や育児休業、フレックスタイム等も取得しやすく、公私ともに充実した生活を過ごせると思います。また、人事異動に際しても、各自の意向を最大限尊重しており、「優しい職場」と言えます。

あなたがこのパンフレットをご覧になったことは何かの御縁かと存じます。衆議院事務局で働くことをどうぞ真剣にご検討ください。一緒に働けることを楽しみにしております。



衆議院事務総長

築山信彦